

行財政改革特別委員会

バランスシート、行政コスト計算書、資金収支決算書について説明

主な審議の内容

- Q** バランスシートや行政コスト計算書等はなぜ必要か。
- A** 町の財産、町債等の債務状況や償還能力を明らかにし、来年度以降に引き継ぐ財産と住民負担がわかる表で経営感覚での大事な資料になっていく。
- Q** 前年との比較、他町との比較等一人あたりのコストを出してはどうか。
- A** 他市町の状況を踏まえ今後出ていく。
- Q** 町政の運営において企業的感覺は重要であるが、限られた税収の中でどこまで推進し反映出来るか。
- A** 最小の行政コストで最大の行政サービスという経営効率等の追求は企業も行政も同じであり、目的が収益性が公共性かの違い

である。平成18年度決算を踏まえ状況を提示していく。

Q 土地明細書に面積を記載できないか。

A 昭和44年以降の決算統計より算定はしている。近年のものなら計上出来る。

Q 土地開発公社の所有地も含め時価評価額にすべきでは。

A 総務省のルールでやっているので時価でなく買い取り価格だ。

Q 1、000万円以上の事業については、その後これだけの効果、成果があったとの成果表を作成されたい。

A 作成する必要があるので、今後作成し提示する。

Q 18年度約1、361万円の徴収を放棄した不納欠損額の内容は。

A 町税約1、334万円、町営住宅使用料約27万円の未納分。尚、今後もバランスシートについては、広報誌で町民がわかりやすい形で引き続き掲載してほしいとの要望がありました。

編集後記

八月の記録的な猛暑と九月の厳しい残暑は、私達の生活リズムを狂わせ、農作物等へも大きな影響があったが、十月に入りようやく朝夕涼しくなってきた。

米や豆の取り入れ、実りの秋、食欲の秋と、自然に何でも集まる恵まれた人間社会。

しかし、野山に住む熊や鹿達は食べるのに必死で、今年もあちこちで熊の出没が聞こえる頃となった。どんぐりなど実のなる木が少ないのか、熊達も食糧難の為、やむをえず人里に現われ、農作物や果実に被害を与えている。

昔と違い、山林と人の関わりが薄れ、手入れも届かず荒廃が進んでいる。地球の温暖化による自然の変化が、動植物ばかりか私達にも容赦なく襲いかかってくる感じがするこの頃である。

次回は12月初中旬に議会があります。傍聴におかけ下さい。

(安田)